

◎ 本日の卓話 10月13日(火)

「外部卓話」

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
常務理事 酒 徳 俊 夫 さん

◎ 次週の卓話 10月20日(火)

「コミュニケーションで築く信頼

～激変の時代にも不変なものは
伝える・つながることの大切さ～

株式会社トゥルース マナーOJTインストラクター
須志田 幸代 さん

◎ 先週の例会記録

✳ロータリーソング

奉仕の理想

✳ビ ジ タ ー 紹 介

なし

✳出 席 報 告

(会員数78名、免除会員3名) 本日出席(10/6) 55名 70.51%

✳メ イ キ ャ ッ プ

和東へ2名、西へ2名、北へ2名、中へ2名

✳ S. A. A.
(ニコニコ箱)

林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、廣井久道さん、野志幸生さん、
松尾泰明さん、紀 俊崇さん、垣本英作さん、河村秀樹さん、南 修平さん、野井和重さん、
中谷久生さん、島村安昭さん、和中美喜夫さん、松井良樹さん、笹本昌克さん、吉田正夫さん、
宮崎 純さん、濱田 勝さん、塚本貞治さん

本日合計 ￥88,000 今年度累計額 ￥705,000

(財団寄付献金箱)

林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん

(米山奨学会献金箱)

林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、川崎 悟さん、竹中喜廣さん

(青少年育成奨励金)

林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、廣井久道さん、野志幸生さん、
松尾泰明さん、上園芳孝さん

◎ 会長あいさつ

会長 林 俊 行



先週末、「08市堀川スタディクルーズ」を開催しました。天候にも恵まれ、尾崎和歌山市長、RI第2640地区岡本ガバナー、インターアクトの皆さん、地元高校生など、多くの方々にご参加いただき、大成功の裡に事業を終えることができました。

紀の川大橋までのルートを巡り、橋や川沿いの景観を眺めることで、普段とは違う視点から和歌山の歴史や文化に触れることができました。川面から見る石垣や城下町の風景には、和歌山ならではの魅力が感じられました。

先輩ロータリアンから受け継いできた本事業を通じ、地域の歴史や文化を次世代へ伝え、郷土への誇りを育むことの大切さを改めて感じました。ご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

会 長 報 告

- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、理事任期満了退任への感謝状（桧畑直尚会員）



傘寿のお祝い

野志 幸生 会員

満 80 歳

(昭和21年9月30日生)



誕生日お祝い（左から2番目が傘寿お祝いの野志会員）



9月29日(火) 15:30～ 和歌山市内9RC会長・幹事会で
和歌山県知事表敬訪問

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ (和歌山アゼリアRC、粉河RC)
- 赤い羽根共同募金の協力をお願い
- 9/29 市内9RCにて知事表敬訪問の報告
- 10/6 本日18:30 第4回理事会を開催
- 米山記念奨学会「豆辞典」パーソナルボックス配布
- 回覧: バギオ基金からの寄付の御礼状、バギオ訪問交流のための募集案内、水戸RC週報、米山月間の決算資料、更生保護サポートセンター会報誌

委 員 会 報 告



2026-27年度 青少年育成奨励金 上半期報告 及び 奨励金授与

担当: 青少年育成奨励特別委員会
松尾 泰明 委員長



やま した えい する
山下 瑛 琉 さん
高積中学校2年
アーチェリー



み うら ひ なつ
三 浦 妃 夏 さん
県立和歌山高等学校2年
アーチェリー



社会奉仕・青少年奉仕部門
中 谷 久 生 理事

08市堀川スタディクルーズ(船上視察)
の御礼



雑誌・広報委員会
竹 本 憲 司 副委員長
ロータリーの友2026年
10月号の主要な記事の
ご紹介。



卓 話



「持続可能な農産業の実現と 流通改革への挑戦」

株式会社農業総合研究所
代表取締役会長CEO
及 川 智 正 さん

農家が稼げない根本的な原因は、需給バランスの乱れと流通の選択肢の少なさにあります。私自身、生産現場や小売経営を経験する中で、「丹精込めて作った青果物の売り先や価格を自分で決められない」という現実と「豊作貧乏」の課題を痛感してきました。この構造を変え、持続可能な農産業を築くことこそが、私が起業した原点であり存在意義です。

当社は「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」という経営理念を掲げ、AIやデジタル技術を駆使したデータプラットフォームの構築を進めています。消費デー

タと生産データを可視化し、適切な流通網で結ぶことで、価格変動の幅を抑えた安定的な農産物流通を目指しています。

新しい挑戦には必ず周囲からの抵抗や失敗が伴いますが、最も避けるべきは「何も行動しないこと」です。ライバルと奪い合うのではなく、業界全体をどう良くしていくかという視点を持ち、プラスとマイナスの両面を受け入れる姿勢を大切にしています。

私は「60歳までに1兆円規模の野菜・果物を取り扱うプラットフォームを創る」と決めています。テクノロジーと人の力を掛け合わせ、生産者も生活者も豊かになる新しい流通インフラを完成させるため、今後も改革に挑み続けます。



(左から)紹介者の紀委員長、ゲストの及川智正さん、林会長

08市堀川スタディクルーズ(船上視察)開催!!

2026年10月3日(土)
雑賀橋付近から市堀川下流、旧市民会館付近を往復航行



「第4回理事会」開催!

2026年10月6日(火) 18:30~

